

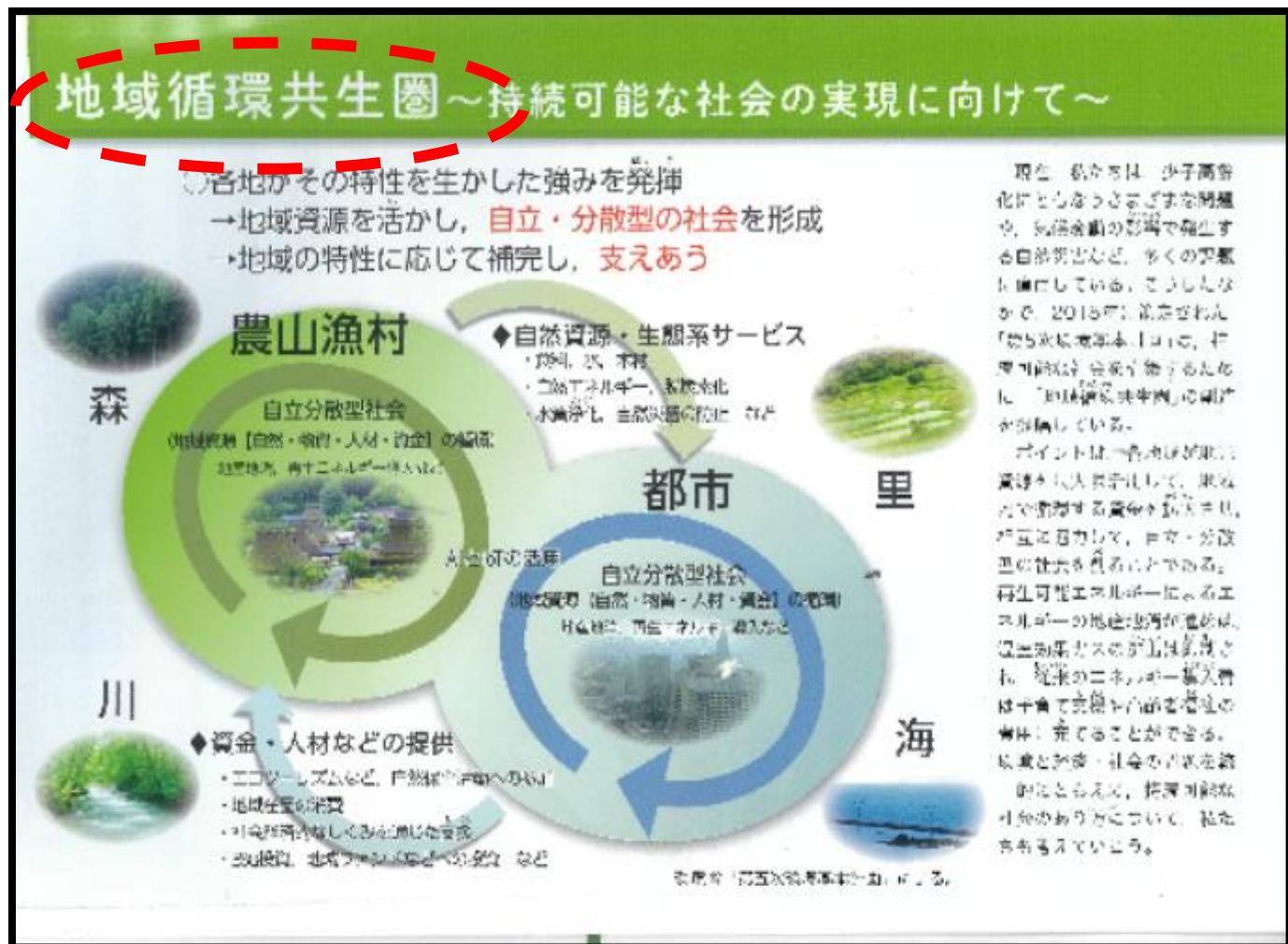
環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくり
～ESDによるローカルSDGsの推進～

山口県立周防大島高等学校



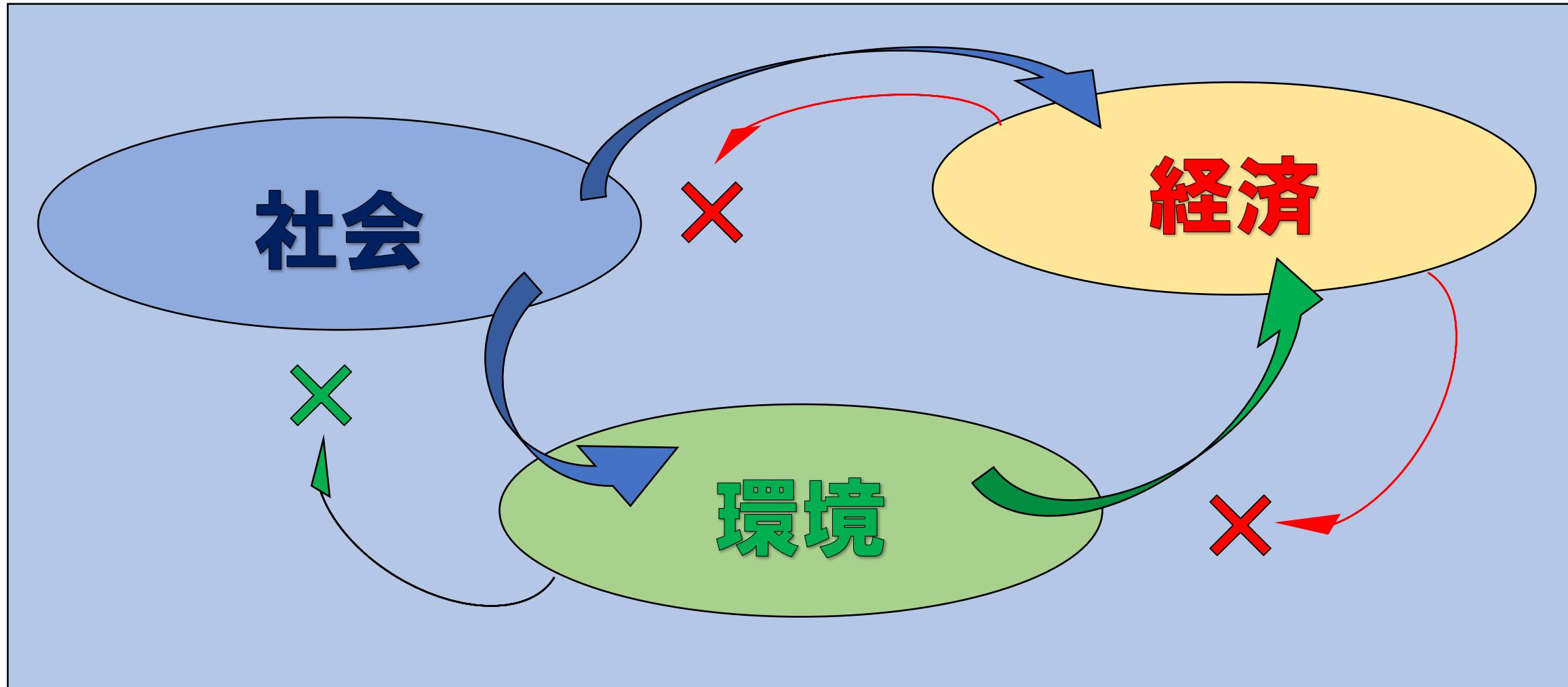
昨年度から、新学習指導要領に基づく高等学校の教育課程において新科目「公共」が始まった。

その教科書の見開き3ページ目に・・・



私たちが生活している世の中は・・・？

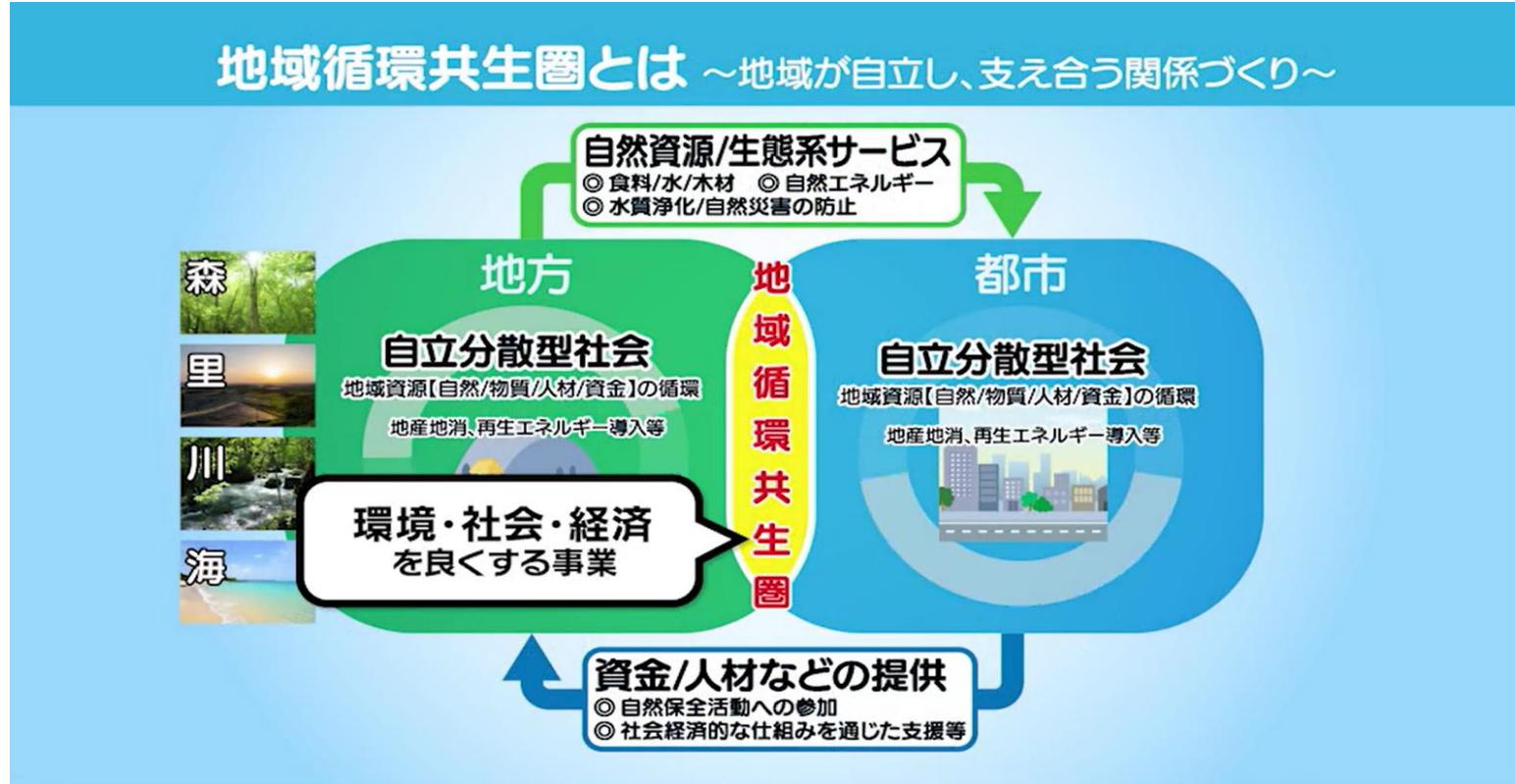
社会、経済、環境のバランスが崩壊している。= 持続不可能



地域循環共生圏とは？

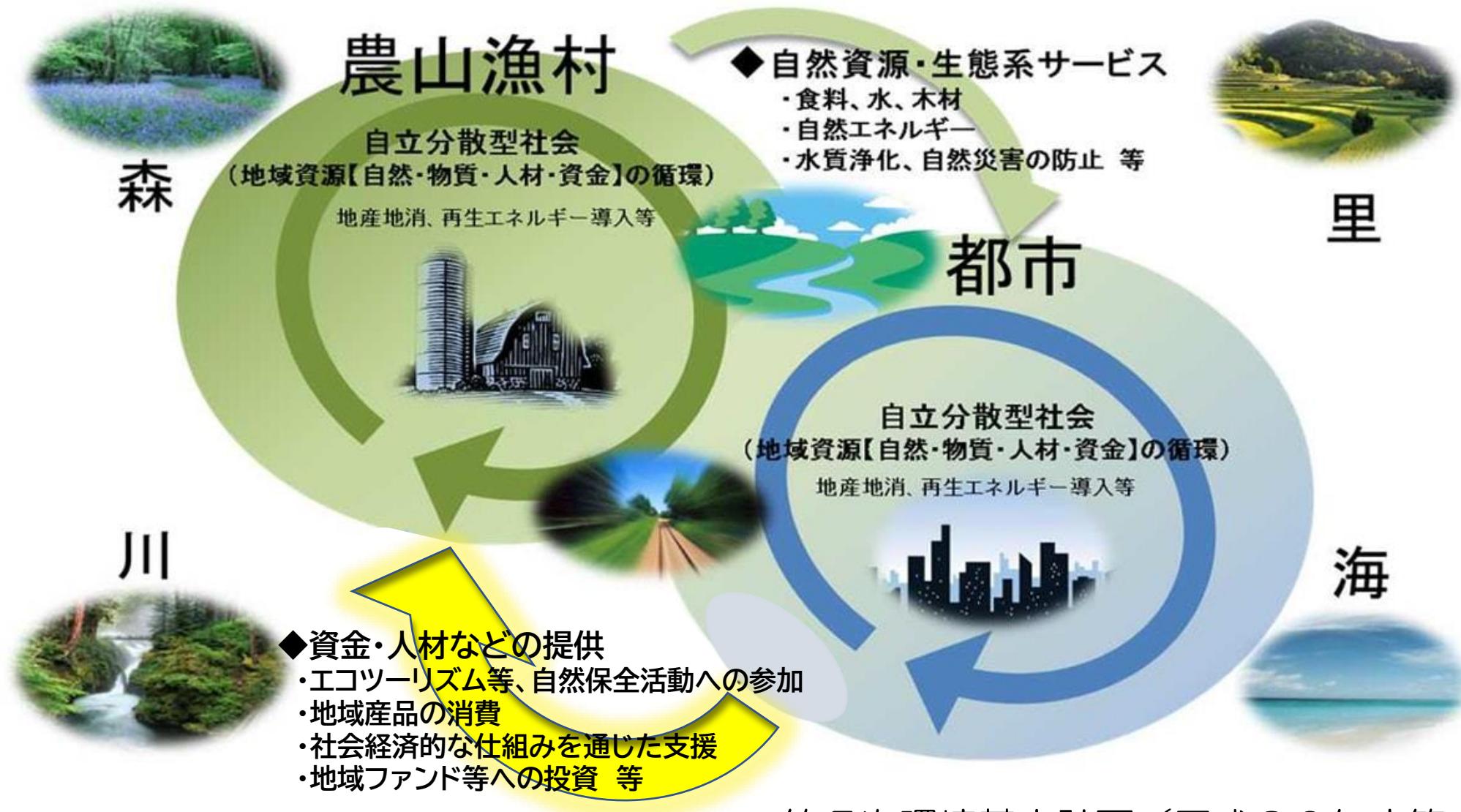
◆地域循環共生圏（2018年4月に閣議決定した環境省第五次環境基本計画で提唱）

各地域が美しい自然や景観等の地域資源を最大限活用しながら**自立・分散型の社会**を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。



都市と地方が互いに持続するためには、それぞれが有する地域資源を活用しながら、環境、社会、経済などの様々な地域課題を同時解決していく、**すなわち地域でのSDGsの実践**が必要。

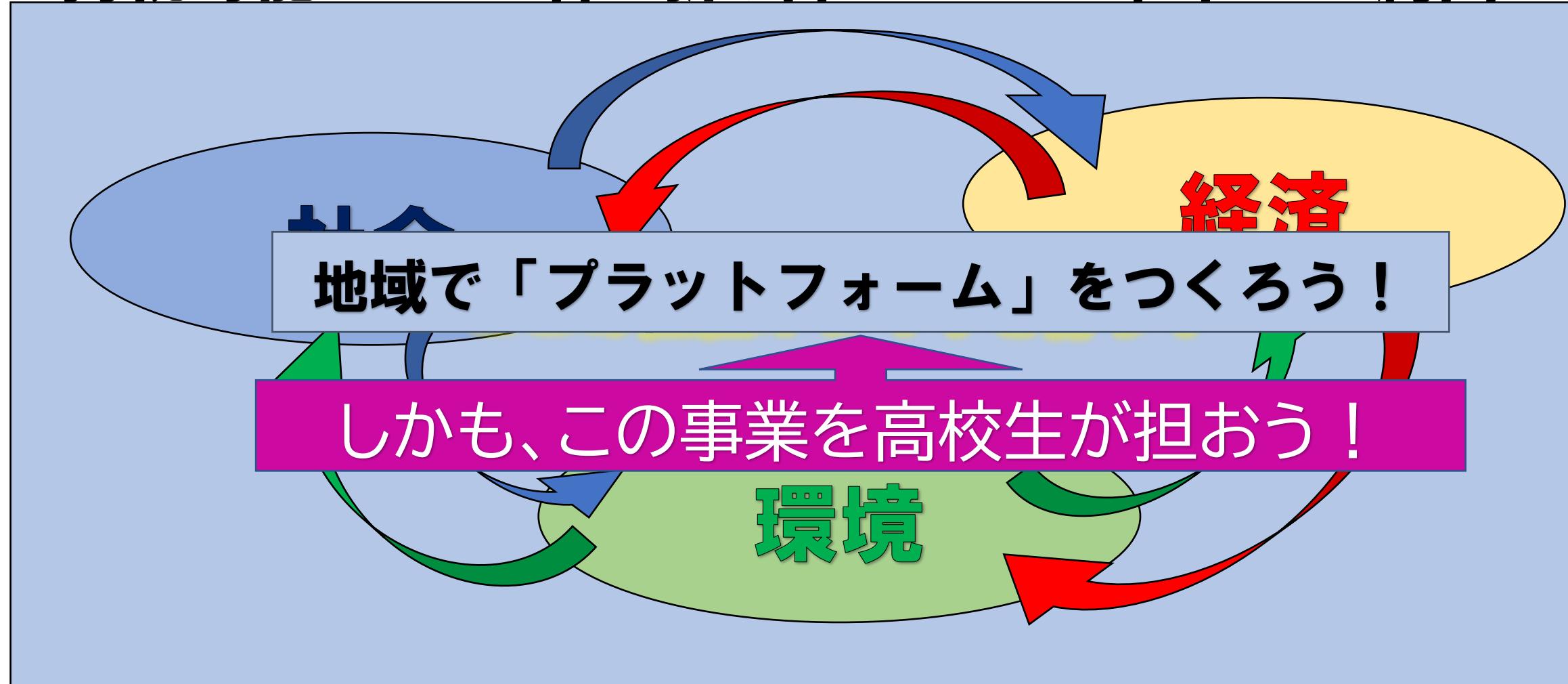
地域が自立し、支えある関係づくり



第5次環境基本計画（平成30年度策定）より

では、どのようにすれば・・・？

持続可能 = 三者の折り合いをつける仕組みを創出！



目指したいプラットフォーム像

静的なプラットフォーム

受動的

枠組みありき

合意形成プロセス複雑

予算の範囲内で取組実施

動的なプラットフォーム

能動的

トレードオフになって
はいけない！

枠組みはなく**自由な取組**
(課題解決の先の価値を創造)

合意形成プロセス
クラウドファンディ
ングを活用！

取組に応じて必要な予算
を獲得

受動的

枠組みありき

合意形成プロセス複雑

予算の範囲内で取組実施

能動的

トレードオフになって
はいけない！

枠組みはなく**自由な取組**
(課題解決の先の価値を創造)

合意形成プロセス
クラウドファンディ
ングを活用！

取組に応じて必要な予算
を獲得

周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム事業

地域プラットフォームのイメージ

- ・地域の担い手育成、地域の自然資源の有効活用・保全の取組が好循環する体制づくりの構築
- ・高校生の実証フィールドとして、町内・町外の多様なプレイヤーと連携した課題解決実証の取組を創発する仕組みづくりの構築

全面的に

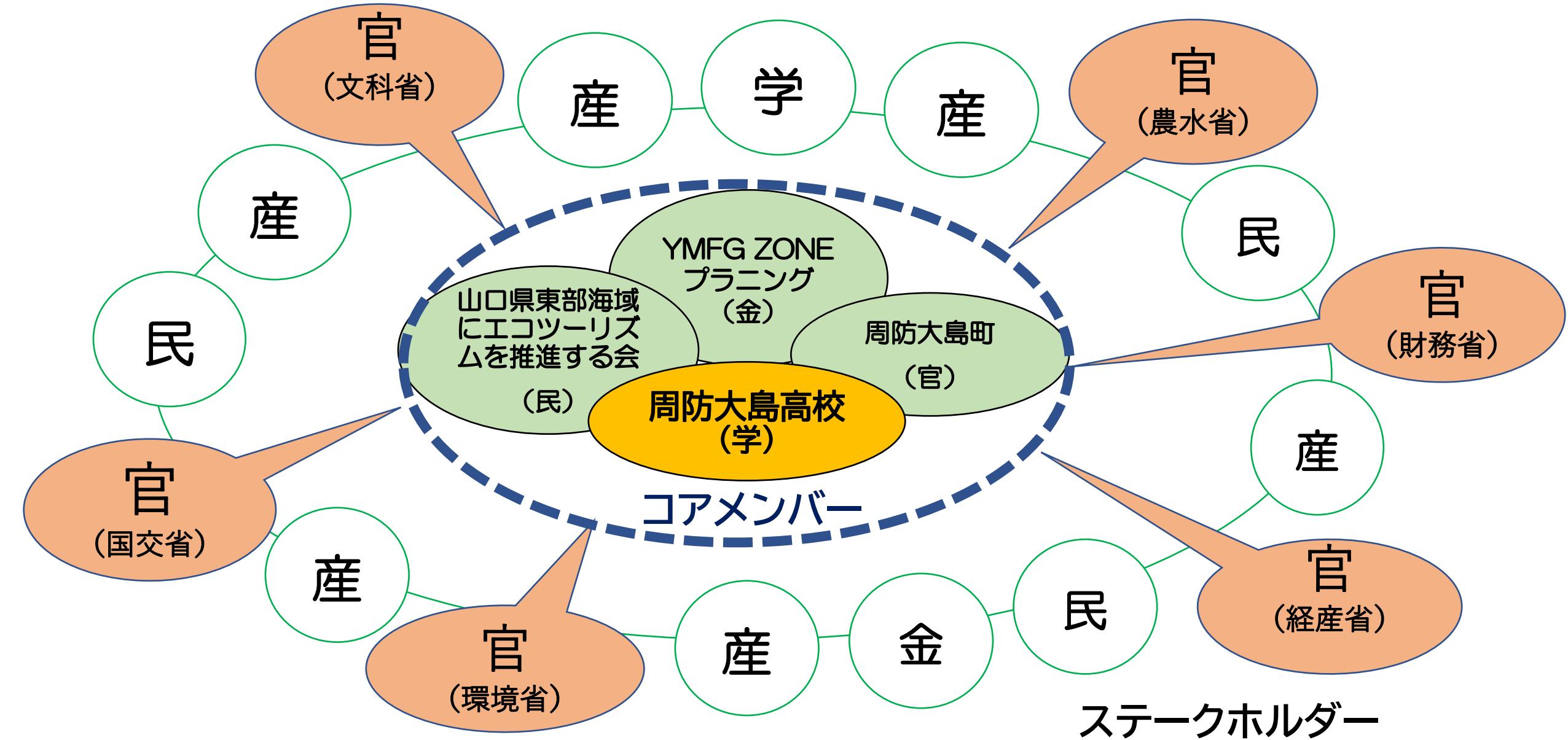
バックアップ

事務局

(株)YMFG ZONE プラニング（通称:YMゾップ）

- ・地域金融機関の山口フィナンシャルグループのグループ会社。地方創生・地域活性化コンサルティングを実施
- ・周防大島町及び山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会と協働して事務局を形成し本事業に取り組む。

周防大島町 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業



学校の沿革

山口県立 安下庄 高等学校

山口県立 久賀 高等学校



2008年 4月 島内の中学校と連携型中高一貫教育を開始

2014年 4月 「地域創生科」を設置 生徒の全国募集を展開

2014年 9月 ユネスコスクールに認証

2015年12月 キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰

2015年12月 ESD大賞ユネスコスクール最優秀賞受賞

2016年 4月 「福祉専攻科」を設置

2016年 4月 コミュニティスクール導入

2学科・5コース

1年次

2年次

3年次

普通科

特別進学コース

普通コース

環境コース

地域創生科

(共通)

福祉コース

ビジネスコース

1年次

2年次

※
介護福祉士養成

高卒対象
※
福祉専攻科

島全体が学びの場

島じゅうキャンパス



ハワイ移民の歴史



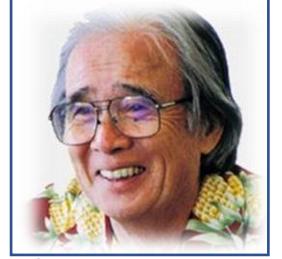
無形民俗文化財



I ターン起業



島の漁業の歴史



星野哲郎と演歌



宮本常一の民俗学



陸奥記念館と戦争



島の郷土料理



みかん収穫実習



四境の役



海岸清掃



拠点：周防大島高校



ニホンアワサンゴ飼育



森林整備



サタデーフラ

2014年 設定 学校設定教科 「地域創生」

地域の経済・産業、文化、福祉の発展 **社会** するとと
経済、環境と共生する持続可能な社会を築き、誰もが
幸せに暮らせる活力ある地域づくりに貢献する社会人
となる環境的な資質と態度を養う。

科目

社会人基礎

フィールドワークⅠ

環境科学Ⅰ

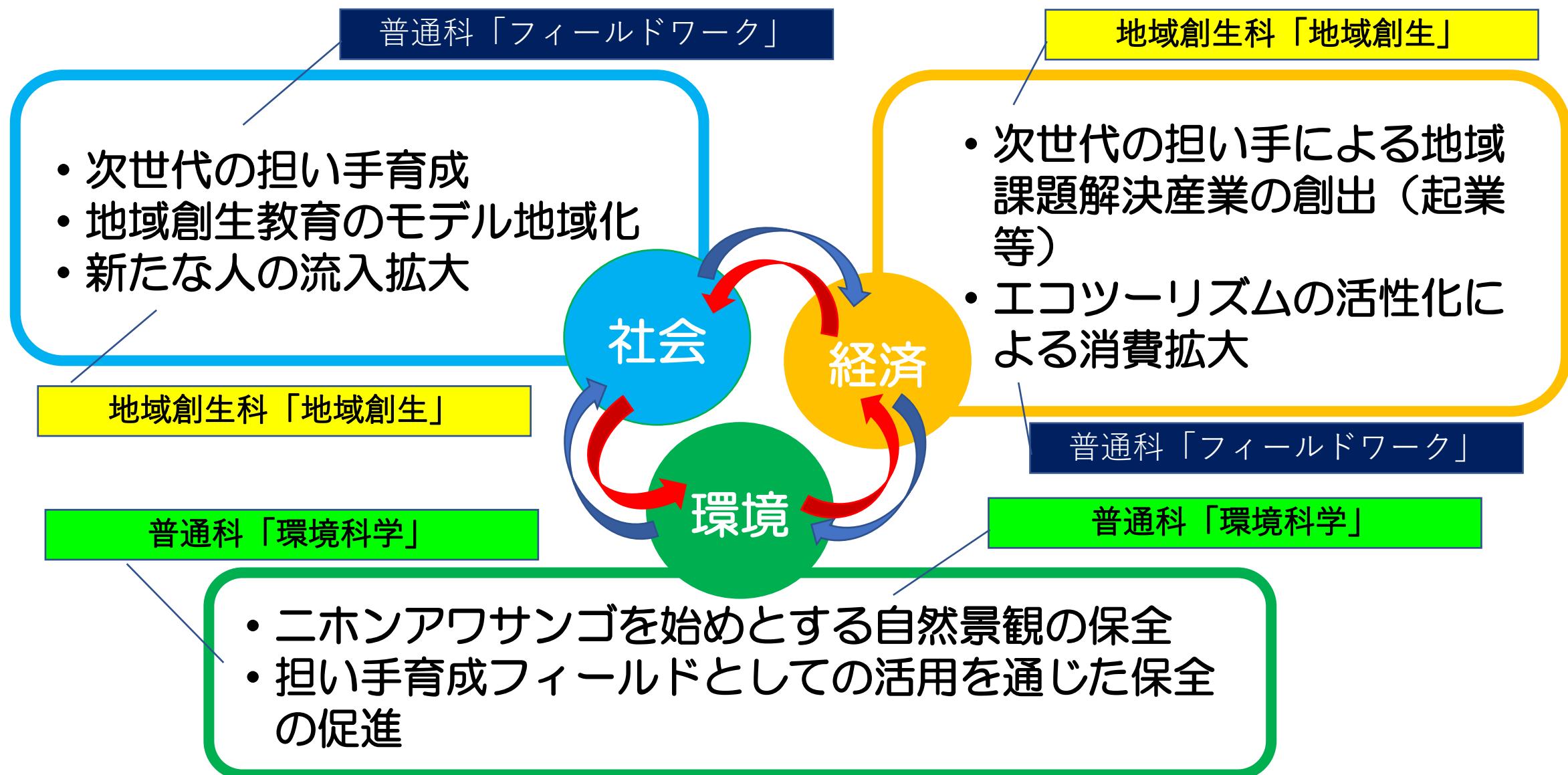
地域創生Ⅰ

フィールドワークⅡ

環境科学Ⅱ

地域創生Ⅱ

授業づくりのイメージ



科目構成

1年次

普通科
(普通コース)

普通科
(環境コース)

地域創生科

社会人基礎
(1単位)

総合的な探究の時間
(1単位)

▽社会人として求められる力を早い段階で自覚し、学習への意欲を高める

2年次

フィールドワークⅠ
(2単位)

環境科学Ⅰ
(2単位)

地域創生Ⅰ
(2単位)

▽地域での実践的活動を通して基礎的なスキルを身につける

3年次

フィールドワークⅡ
(2単位)

環境科学Ⅱ
(4単位)

地域創生Ⅱ
(2単位)

▽地域での実践的活動と発信を通して学習の成果を試す

フィールドワークについて

【フィールドワークⅠ】

地域の課題について考える学習を通して、地域の一員としての望ましい心構えを身につけ、地域の諸活動に適切に対応する能力と態度を養う。

【フィールドワークⅡ】

地域における実践的な活動を通して、他教科の学習やフィールドワークⅠで身につけた知識と技能の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的に地域に関わろうとする態度を養う。

<実際の活動>

歴史、文化、食、防災のテーマに基づき周防大島の魅力を発見、発信する。文化の発信、自然を知り・守る、学校の魅力発信、政策アイデアの試行・考案等のテーマに基づき島じゅうをキャンパスとして、魅力を発信する。

環境科学について

【環境科学Ⅰ】

地域における**自然環境の保護と活用**について考える学習を通して、地域の一員としての望ましい心構えを身につけ、地域の諸活動に適切に対応する能力と態度を養う。

【環境科学Ⅱ】

地域における**自然環境の保護と活用**について実践する活動を通して、他教科の学習や環境科学Ⅰで身につけた知識と技能の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的に地域に関わろうとする態度を養う。

<実際の活動>

周防大島や瀬戸内海の環境について調査・研究・分析等を行う。**S**
DGsを達成のための島内外の専門家と連携した探究活動（ニホンアワサンゴの飼育・繁殖、循環型農業、マイクロプラスチックの削減等）

身につけさせたい力

- 推薦入試の面接や小論文、就職面接で勝てる力

→ 「論が立てられる力」、「書ける力」、「しゃべることができる力」

- 困難なことを解決する道筋を立てる力

→ 「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」

- 社会人との関わりの中で足りない自分に気づく

→ 「学習の大切さに気づき、最後まで頑張り抜く力」

日本全国を隅々まで訪ね歩き、各地の民間伝承を詳細に調査した民俗学者・宮本常一。その旅程は実に16万キロ、地球4周に及ぶといわれている。また、その旅は、辺境の地で生きる古老達の一生を聞き出し、動態をもって描く旅であった。日本の片隅で暮らす人々の生活を表舞台に導いた宮本民俗学は、現代日本が忘れた何かを思い出させる一つの大きな契機でもある。



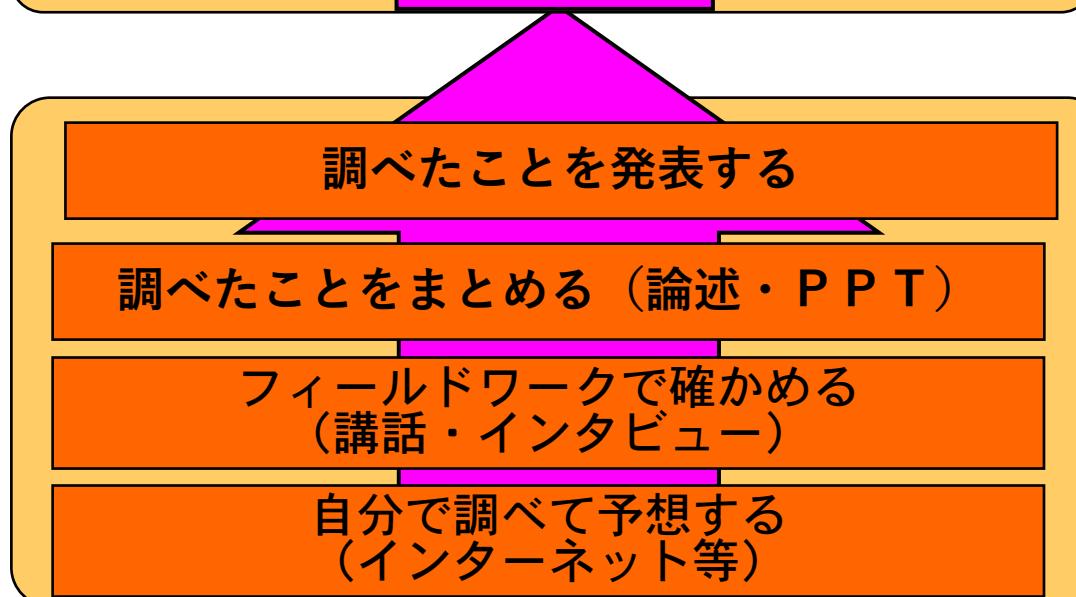
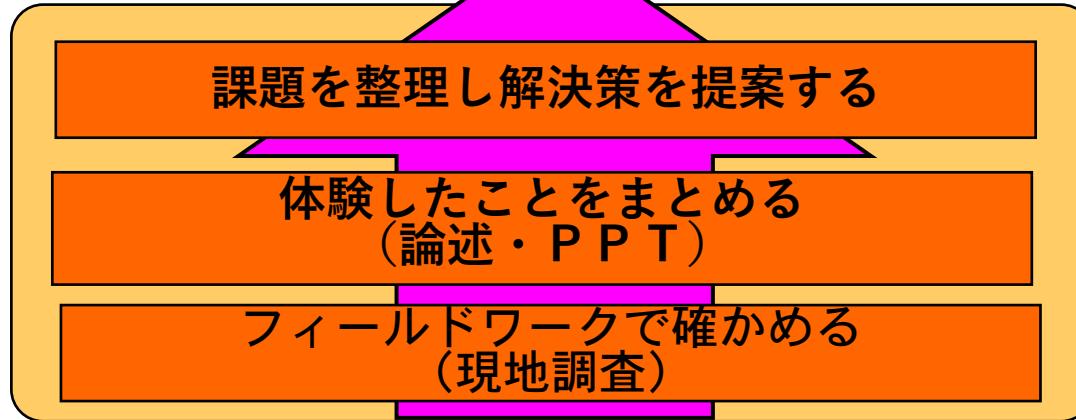
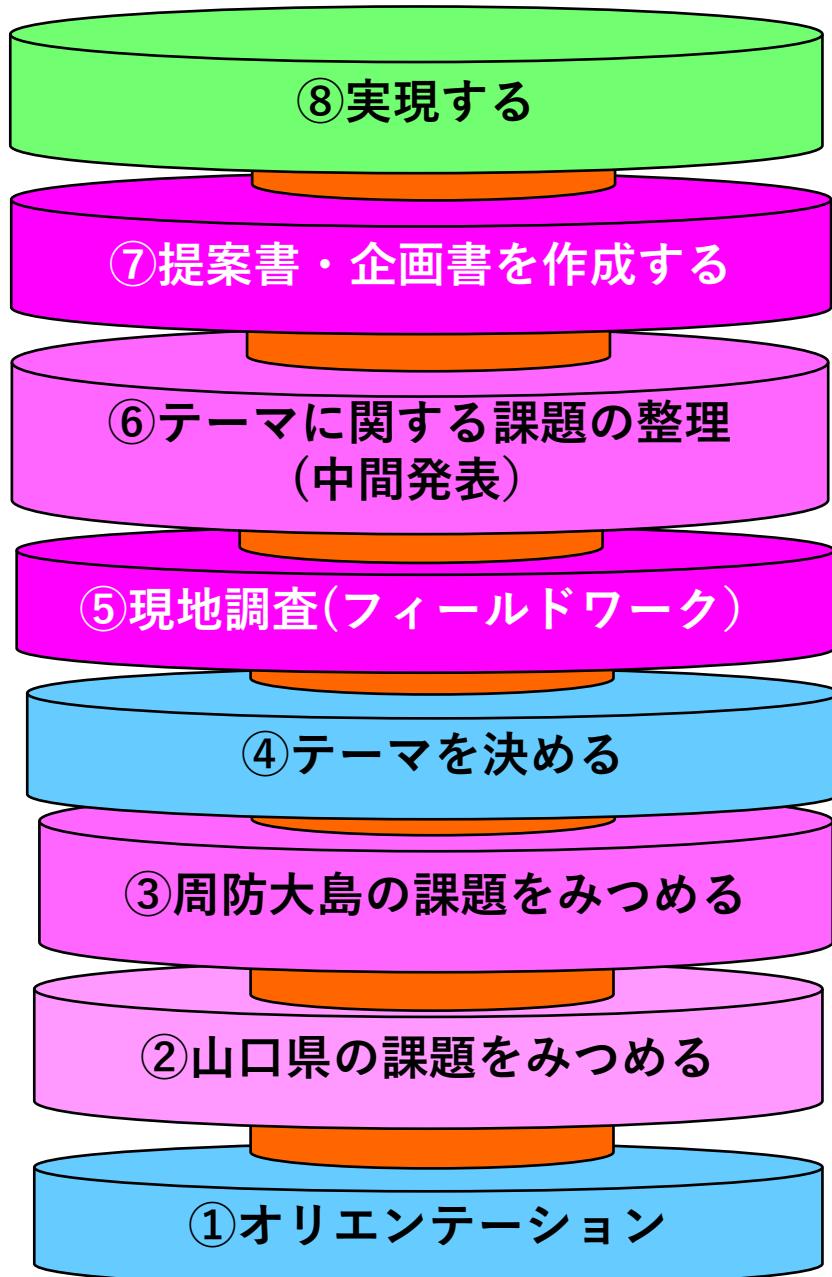
<父の教え>

- ①汽車に乗ったら窓から外をよく見よ。
- ②新しく訪ねていったところは必ず高いところへ上って見よ。
- ③金があったら、その土地の名物や料理をたべておくのがよい。
- ④時間のゆとりがあったら、できるだけ歩いてみることだ。
- ⑤金というものはもうけるのはそんなにむづかしくない。しかし使うのがむづかしい。
- ⑥三十すぎたら親のあることを思い出せ。
- ⑦親はいつでも待っている。
- ⑧これからさきは子が親に孝行する時代ではない。親が子に孝行する時代だ。
- ⑨自分でよいと思ったことはやってみよ。
- ⑩人の見のこしたものを見るようにせよ。その中にいつも大事なものがあるはずだ

「あるく」
「みる」
「きく」

歩き、人の話を聞き、
メモする、写真を撮る。世界を把握する
方法を彼は知っていた。

学習のフロー



3年次

2・3学期

1学期

フィールドワークの取組例

フィールドワークⅠ

歴史コース

食コース

防災コース

文化コース



歴史



目的：地元の宮司さんや文化財保護委員と一緒に歴史探訪を行いながら周防大島の歴史を深く知る。

食



目的：自らが釣った魚を食生活改善推進員と一緒に調理し、郷土料理として食べる。

防災



目的：防災アドバイザーの指導のもと、地元の災害について知り災害対策を学ぶ。

文化



目的：ハワイ移民を多く輩出した「瀬戸内のハワイ」周防大島とハワイとの繋がりを学ぶ。

フィールドワークの取組例

フィールドワークⅠ

歴史コース

食コース

防災コース

文化コース



R4 フィールドワークⅡ

ハワイアンコース

島人ぬ音楽コース

DASH島コース

テキスタイルコース

政策アイデアコース

フィールドワークⅡの活動概要

コース名	人数	チーム	活動概要（当初案）
ハワイアンコース	9	1	島内にフォトスポットを作るなどして、周防大島がカウアイ島と姉妹島であることをPRしていく。
島人ぬ音楽コース	8	2	「竹害」で悩む周防大島の「竹」を用いて楽器を作成し、ふるさと納税の返礼品にしたり、演奏会を行うことで観光客を呼ぶ。
DASH島コース	8	2	無人島探検エコツーリズムを提案する。「周防大島みかん」PR動画制作。
テキスタイルコース	8	3	みかんの皮を使って洋服を染色する研究を行い、その成果を「竹」の纖維を染色することに転用することで商品開発を行う。
政策アイデアコース	8	2	島を活性化する政策アイデアを立案し、実現を目指す。

フィールドワークⅡの活動概要

コース名	人数	チーム	活動概要（当初案）
ハワイアンコース	9	1	島内にフォトスポットを作るなどして、周防大島がカウアイ島と姉妹島であることをPRしていく。
島人ぬ音楽コース	8	2	「竹害」で悩む周防大島の「竹」を用いて楽器を作成し、ふるさと納税の返礼品にしたり、演奏会を行うことで観光客を呼ぶ。
DASH島コース	8	2	無人島探検エコツーリズムを提案する。「周防大島みかん」PR動画制作。
テキスタイルコース	8	3	みかんの皮を使って洋服を染色する研究を行い、その成果を「竹」の纖維を染色することに転用することで商品開発を行う。
政策アイデアコース	8	2	島を活性化する政策アイデアを立案し、実現を目指す。

県農林水産事務所、町農林水産課、JA等に依頼を受け、地元の特産品「周防大島みかん」をPRする動画を作成



みかん探偵編



家族へのお土産編



山口大島みかんのうた
作詞:周防大島高校生徒、まあじい
作曲:まあじい



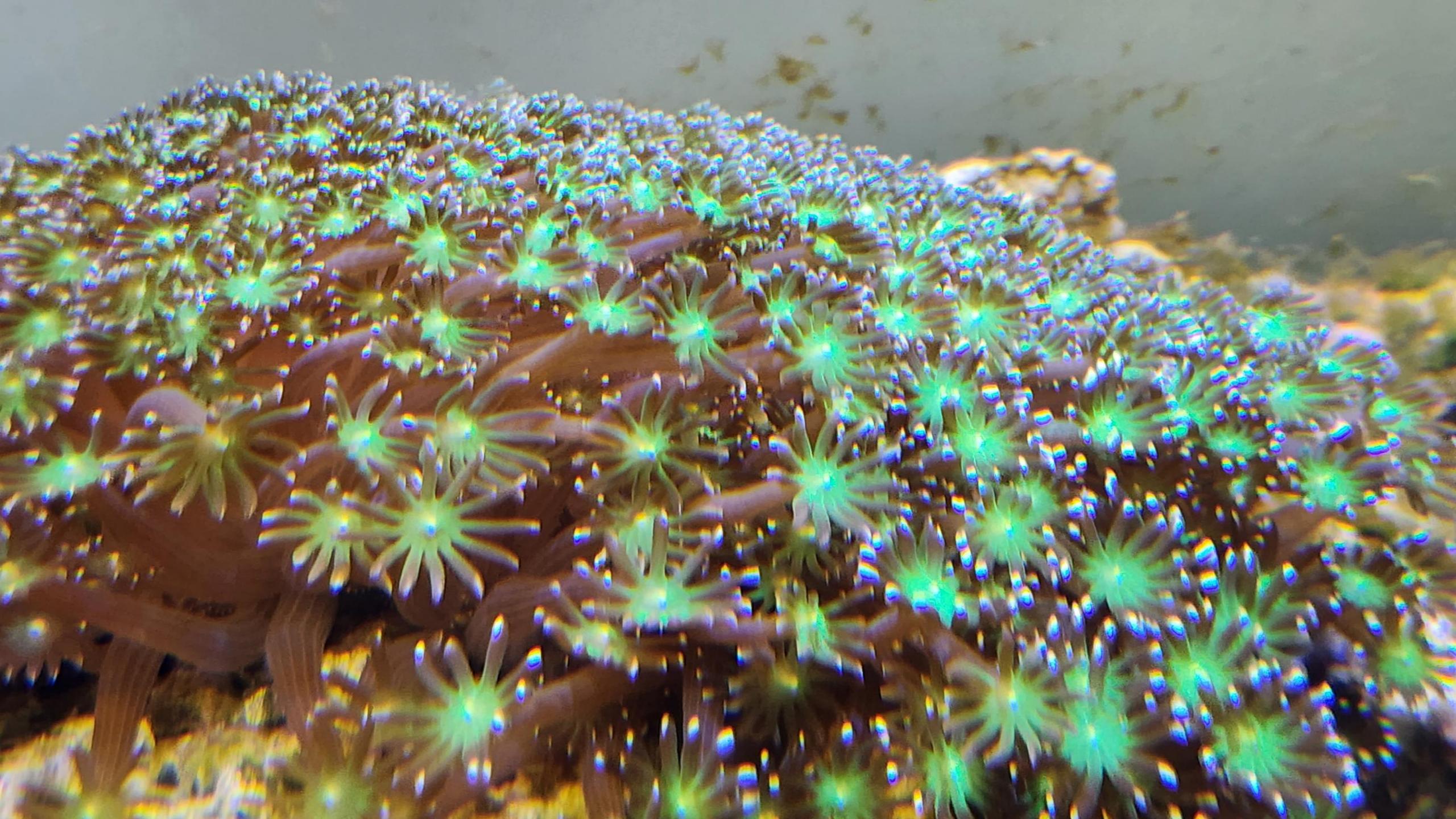
部活動編



目的：みかんの成分「リモネン」を用いてマイクロプラスチックの除去等を行うなど、自然環境について調査・研究・分析を行う。



目的：R3年度から「ニホンアワサンゴ」の調査・研究を行うため校内に水槽を設置し飼育を開始した。



科目構成

1年次

普通科
(普通コース)

普通科
(環境コース)

地域創生科

社会人基礎 (1単位)

総合的な探究の時間 (1単位)

▽社会人として求められる力を早い段階で自覚し、学習への意欲を高める

2年次

フィールドワークⅠ
(2単位)

環境科学Ⅰ
(2単位)

地域創生Ⅰ
(2単位)

▽地域での実践的活動を通して基礎的なスキルを身につける

3年次

フィールドワークⅡ
(2単位)

環境科学Ⅱ
(4単位)

地域創生Ⅱ
(2単位)

▽地域での実践的活動と発信を通して学習の成果を試す

地域創生について

【地域創生Ⅰ】

地域における**福祉**や**ビジネス**の意義や役割を理解させるとともに、地域の一員としての望ましい心構えを身につけ、地域の諸活動に適切に対応する能力と態度を養う。

【地域創生Ⅱ】

地域における**実践的な活動**を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的に地域に関わろうとする態度を養う。

<実際の活動>

福祉コース：地元の特別養護老人ホームと連携した実践的な学習（介護体験、介護実習等）

ビジネスコース：地元企業での職場体験や現場実習（インターンシップ）を通して**起業家精神（アントレプレナーシップ）**を学ぶ



目的：超高齢化の周防大島にあって介護に係る専門的、実践的な知識、技術を学ぶ。



Eスポーツを介護福祉現場で活用

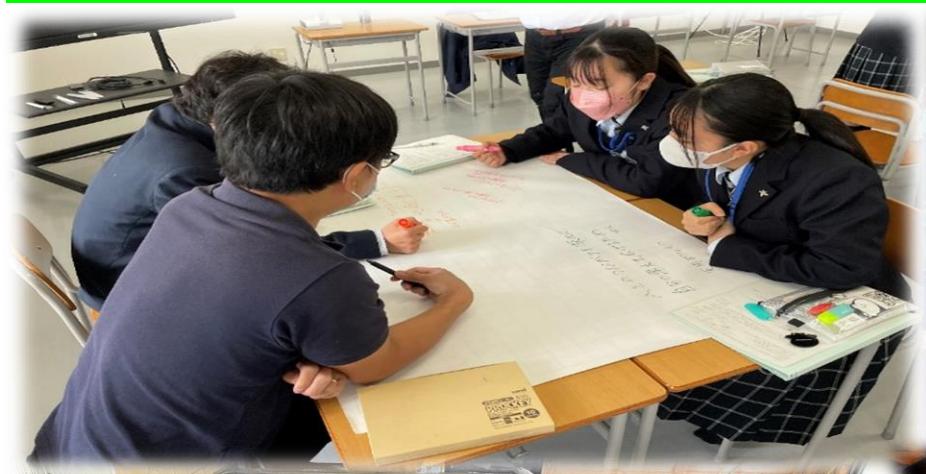




目的：Uターン、Iターンにより周防大島で起業された方たちから実践的な起業家精神（アントレプレナーシップ）を学ぶ。

夢鹽プロジェクト

起業家の指導のもと、周防大島産の「塩」を使った商品開発を行い地域産品として販売する。



夢鹽プロジェクトで完成した塩と塩飴



フィールドワークⅡの活動概要

コース名	人数	チーム	活動概要（当初案）
ハワイアンコース	9	1	島内にフォトスポットを作るなどして、周防大島がカウアイ島と姉妹島であることをPRしていく。
島人ぬ音楽コース	8	2	「竹害」で悩む周防大島の「竹」を用いて楽器を作成し、ふるさと納税の返礼品にしたり、演奏会を行うことで観光客を呼ぶ。
DASH島コース	8	2	無人島探検エコツーリズムを提案する。「周防大島みかん」PR動画制作。
テキスタイルコース	8	3	みかんの皮を使って洋服を染色する研究を行い、その成果を「竹」の纖維を染色することに転用することで商品開発を行う。
政策アイデアコース	8	2	島を活性化する政策アイデアを立案し、実現を目指す。

内閣府主催 「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」 応募作品

みんなで繋ぐ未来の環

～周防大島の挑戦～



山口県立周防大島高等学校
政策アイデアコース 木口真唯子 宮田和弥



「しまキャン△」とは！

学ぶ！

ニホンアワサンゴをみてみよう！

- ◆シュノーケリング
- ◆クリアカヤック（子供でもOK）



出典：クリア
カヤック
JAPAN 二人
乗用
<http://clearkayakjapan.com/>



楽しむ！

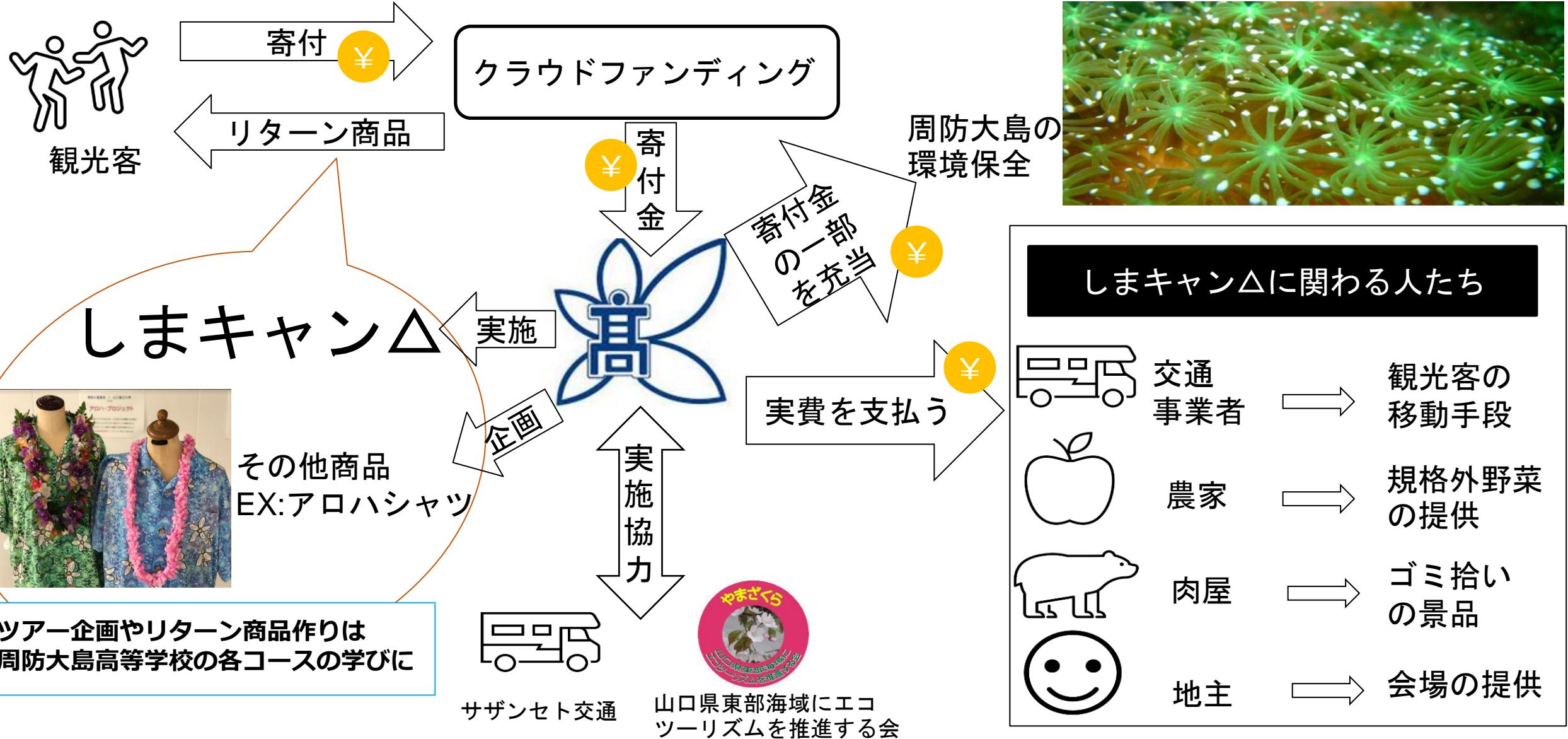


- ◆瀬戸内のハワイで食べるハワイアン料理
- ◆郷土料理・みかん鍋
- ◆地産地消・太刀魚の鏡盛り
- ◆竹を使った流しそうめん



そのほかにもたくさんのコースを順次追加→何度も来てもらえるように！
例えば、、、エコキャンプ（竹を使った食器、食べる害獣駆除など）

ビジネスモデル

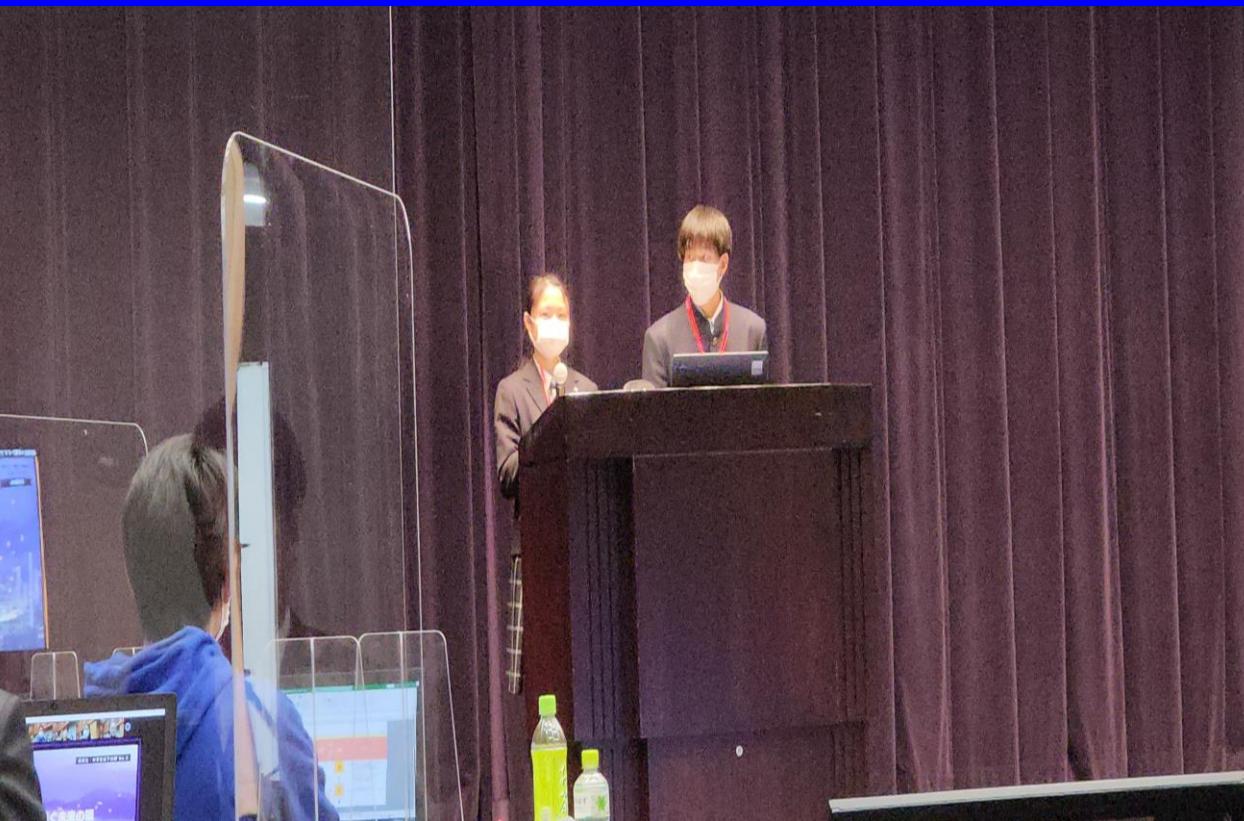




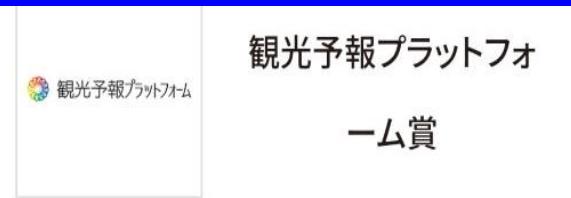
中国経済産業局長賞 受賞

「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」

(内閣府主催)

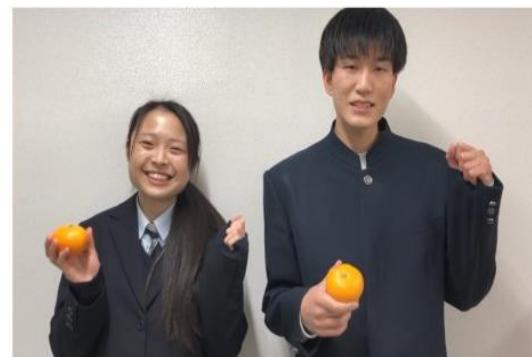


協賛企業賞 受賞
観光予報プラットフォーム賞
損保ジャパン賞
Ture Data賞
NEC賞



高校生・中学生以下の部

★みんなで繋ぐ未来の環



チーム名

山口県立周防大島高等学校/政策アイデアチーム

参加者氏名

木口真唯子、宮田和弥

分析対象地域





ニホンアワサンゴ等の自然保護・資源活用強化

- ・希少なニホンアワサンゴを始めとする地域の自然資源を活用したエコツーリズム等を通じた新たな人の流れの創出に向けて、令和5年に供用開始となるエコツーリズム拠点施設を核とした取組の検討を推進する。
- ・具体的には、現在実施しているトレッキングツアーなどに加え、海中にあるため一般の人が見ることが困難なニホンアワサンゴを身边に見ることができる仕組みづくりの検討などを推進し、資源を活用して町内・町外に新たな人の流れをつくり、地域の活性化を目指す。



R5年7月撮影

第1回 地域循環共生圏プラットフォームづくり 協議会 R4.9.12



<参加者>

- ・周防大島町役場 農林水産課
- ・山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会
- ・(株)KAIKA
- ・(株)YMFG ZONE プラニング
- ・環境省 中国環境パートナーシップオフィス
- ・環境省 中国四国地方環境事務所
- ・周防大島高校
- ・周防大島高校PTA

第2回 地域循環共生圏プラットフォームづくり 協議会 R4.10.31



<参加者>

- ・周防大島町役場 農林水産課
- ・周防大島町教育委員会
- ・山口県教育庁 地域連携教育推進課
- ・山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会
- ・(株)サンライン
- ・(株)KAIKA
- ・サザンセト交通(株)
- ・(株)レノファ
- ・山口銀行 柳井支店
- ・山口銀行 大島久賀支店
- ・(株)YMFG ZONE プラニング
- ・財務省 中国財務局 山口財務事務所
- ・環境省 中国環境パートナーシップオフィス
- ・環境省 中国四国地方環境事務所
- ・周防大島高校
- ・周防大島高校PTA

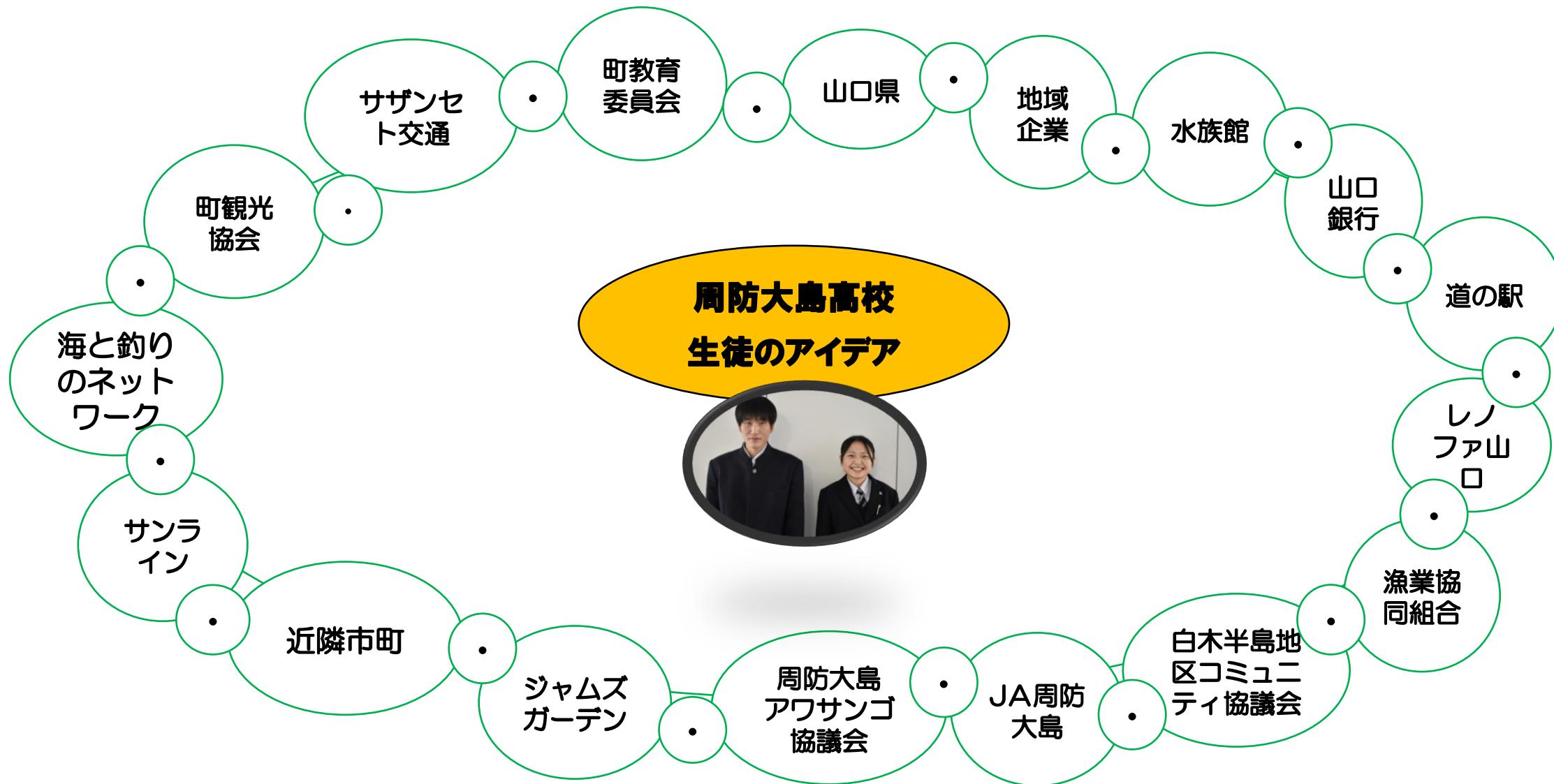
第3回 地域循環共生圏プラットフォームづくり 協議会 R5.1.30



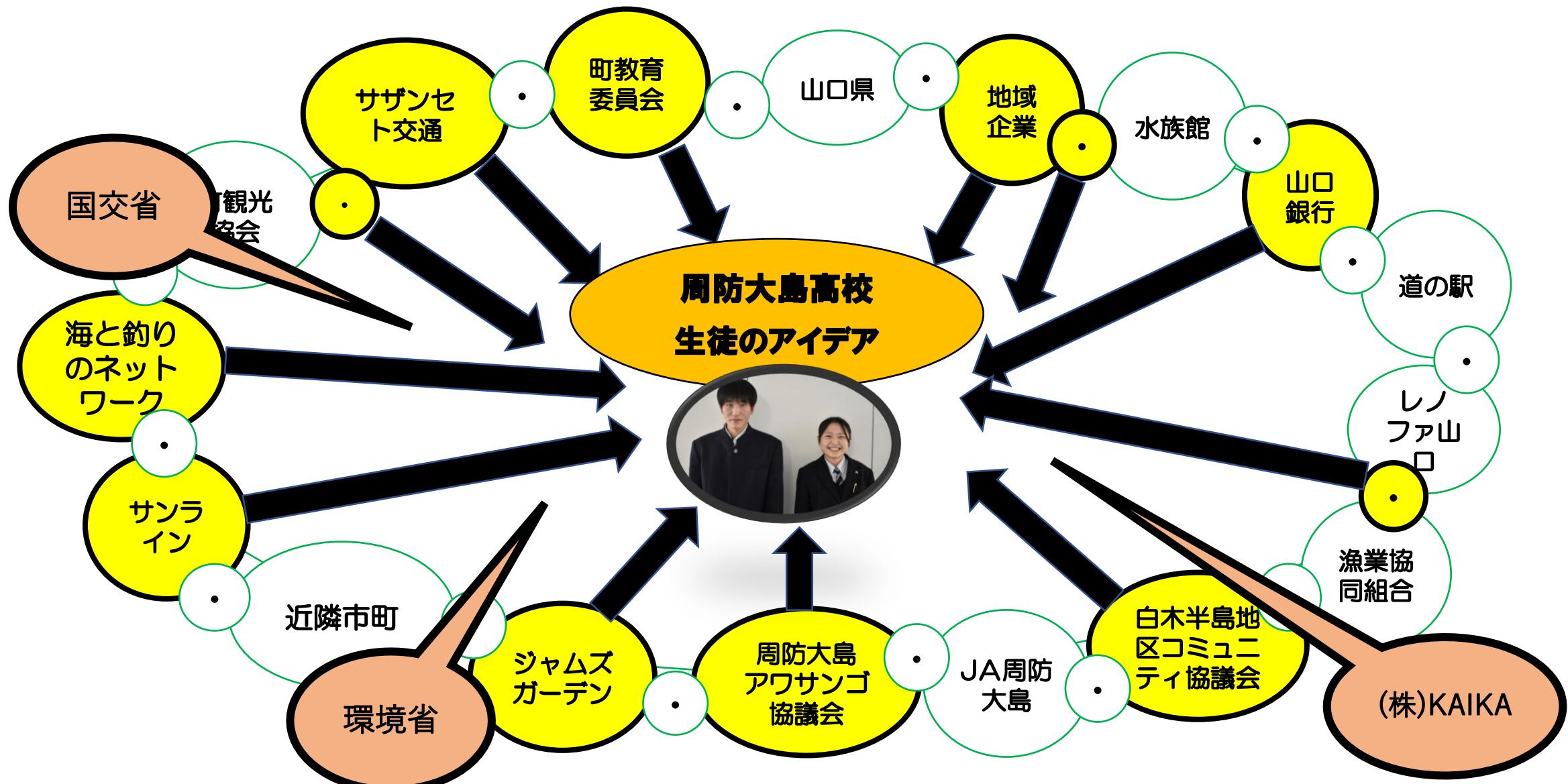
<参加者>

- ・周防大島町役場 農林水産課
- ・周防大島町教育委員会
- ・周防大島町議会
- ・山口県 環境生活部 自然保護課
- ・山口県教育庁 地域連携教育推進課
- ・山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会
- ・(株)サンライン
- ・(株)KAIKA
- ・(株)瀬戸内ジャムズガーデン
- ・道の駅サザンセトとうわ
- ・サザンセト交通(株)
- ・マリッサリゾート サザンセト周防大島
- ・グリーンステインガウラ
- ・有限会社 千鳥（周防大島観光協会 会長）
- ・一般社団法人 周防大島観光協会
- ・(株)レノファ
- ・山口銀行 柳井支店
- ・山口銀行 大島久賀支店
- ・(株)YMFG ZONE プラニング
- ・財務省 中国財務局 山口財務事務所
- ・環境省 中国環境パートナーシップオフィス
- ・環境省 中国四国地方環境事務所
- ・周防大島高校
- ・周防大島高校教育後援会
- ・周防大島高校PTA

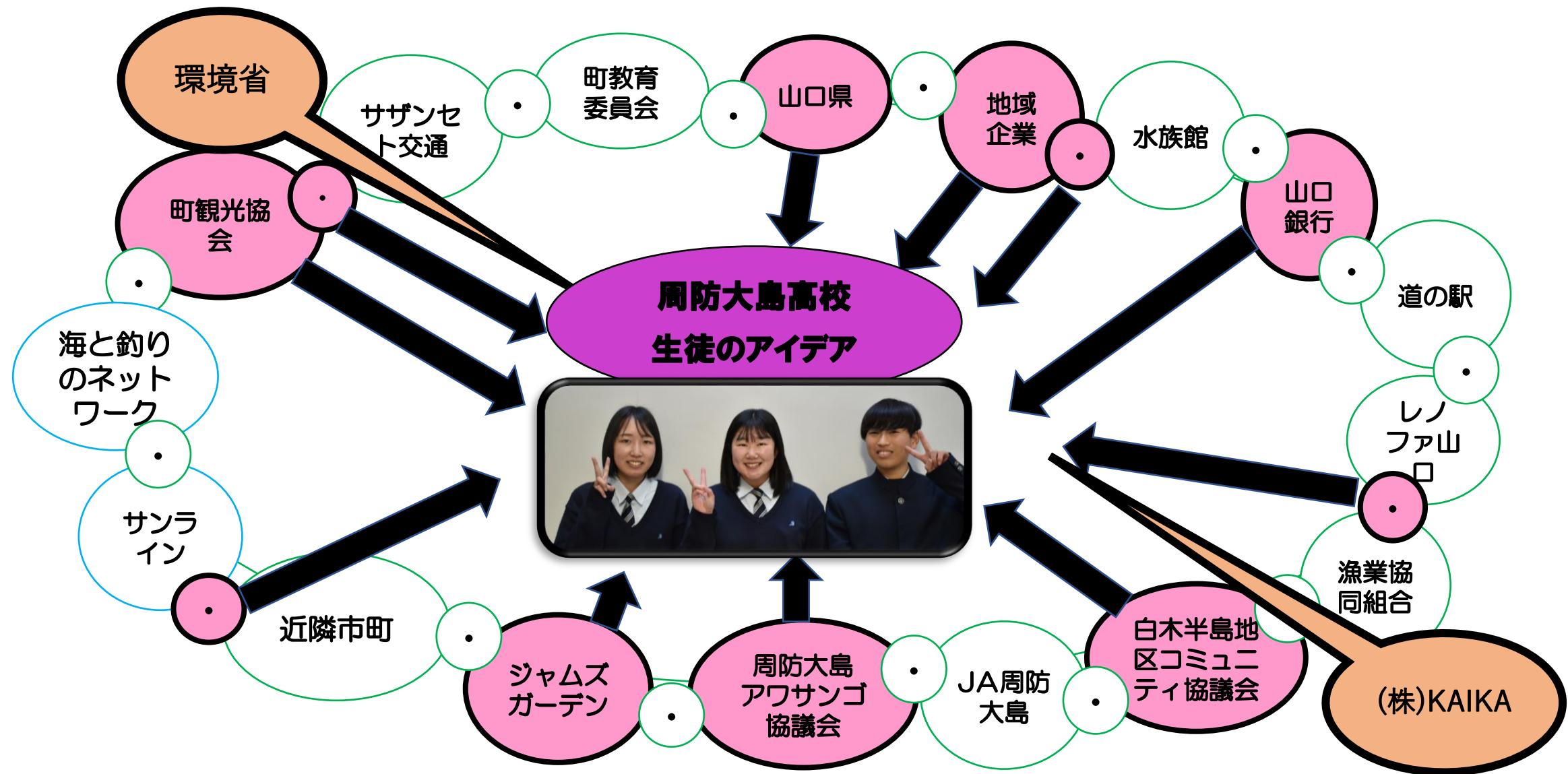
周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム事業



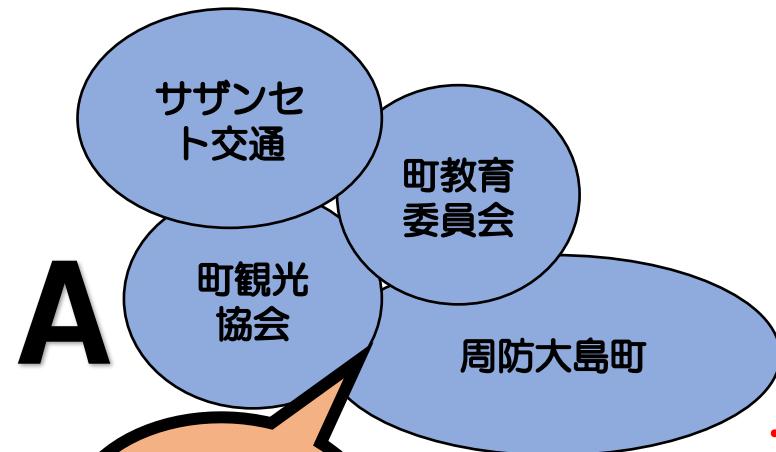
周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム 今後のイメージ



周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム 今後のイメージ

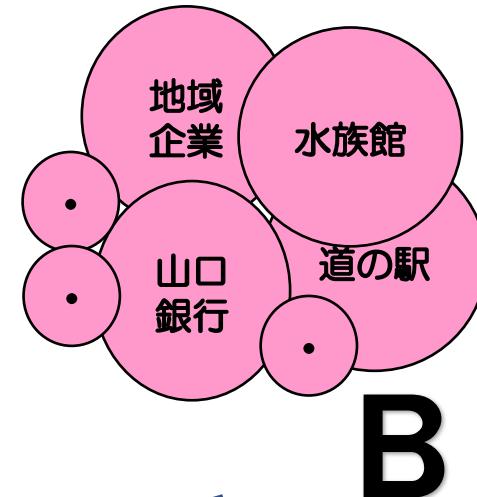


周防大島町 既存の事業（事業は架空のもの）



A

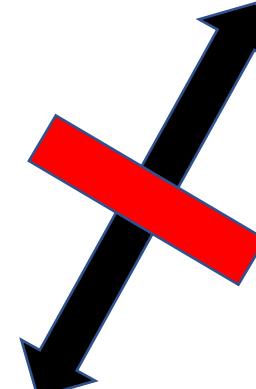
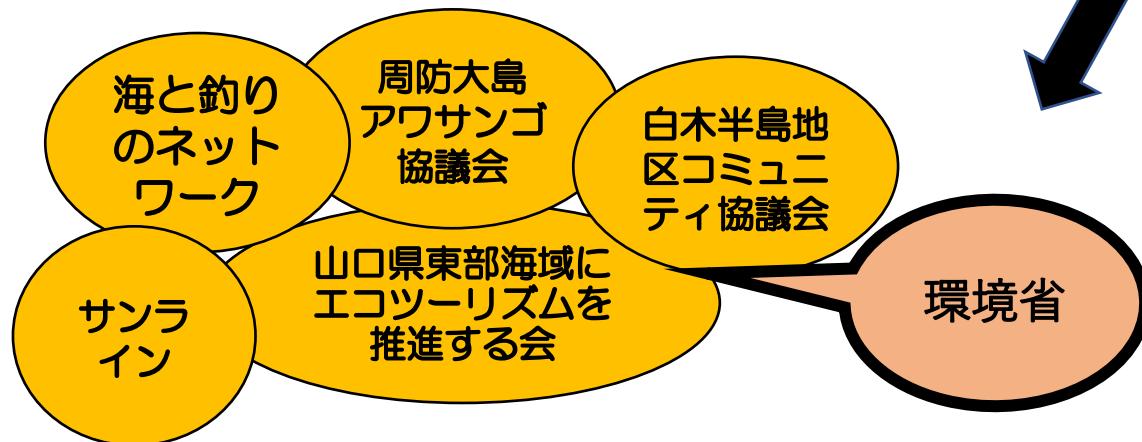
それぞれの事業ごとに
共通理解が図れていな
いことが多い。



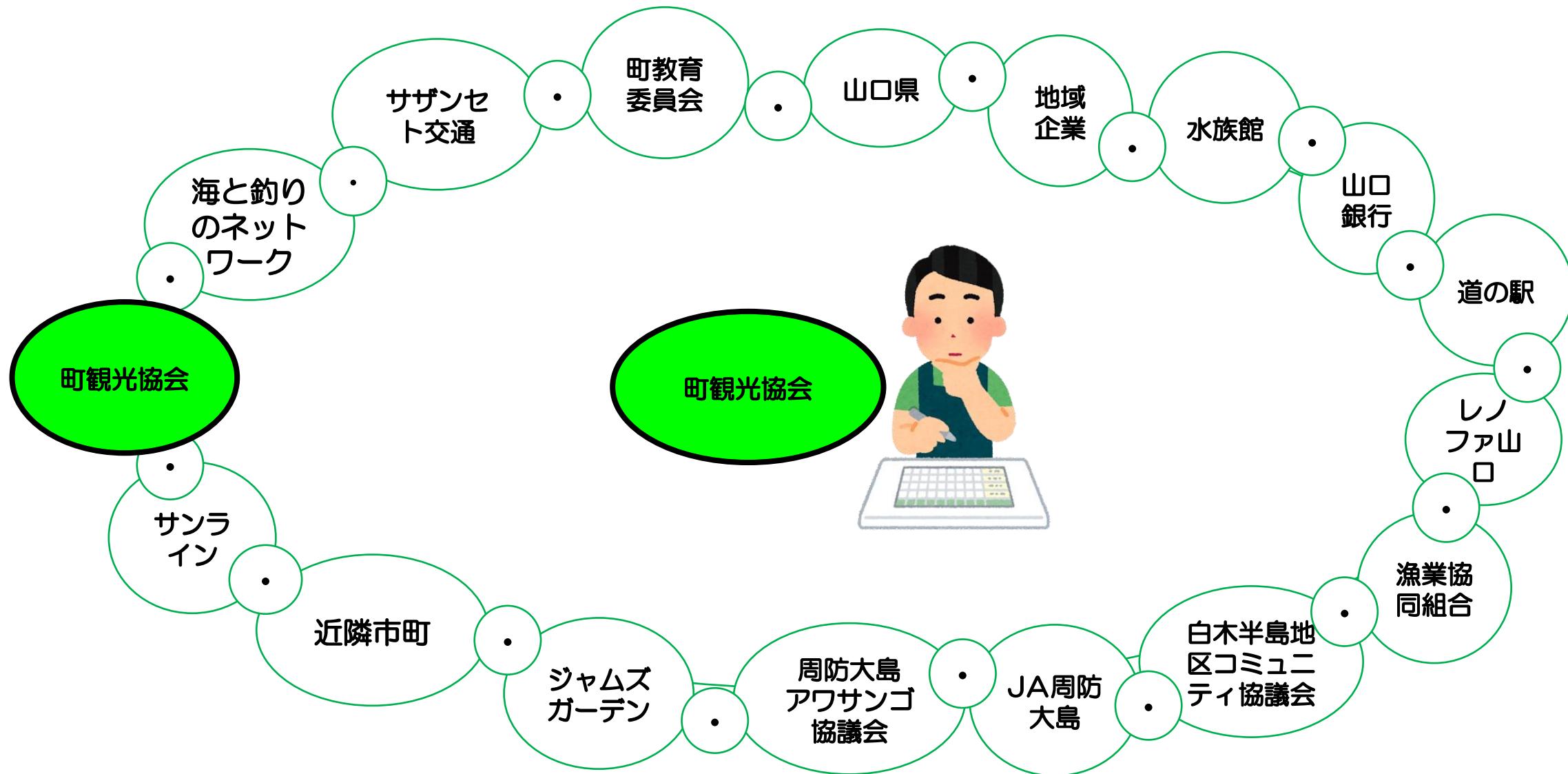
B



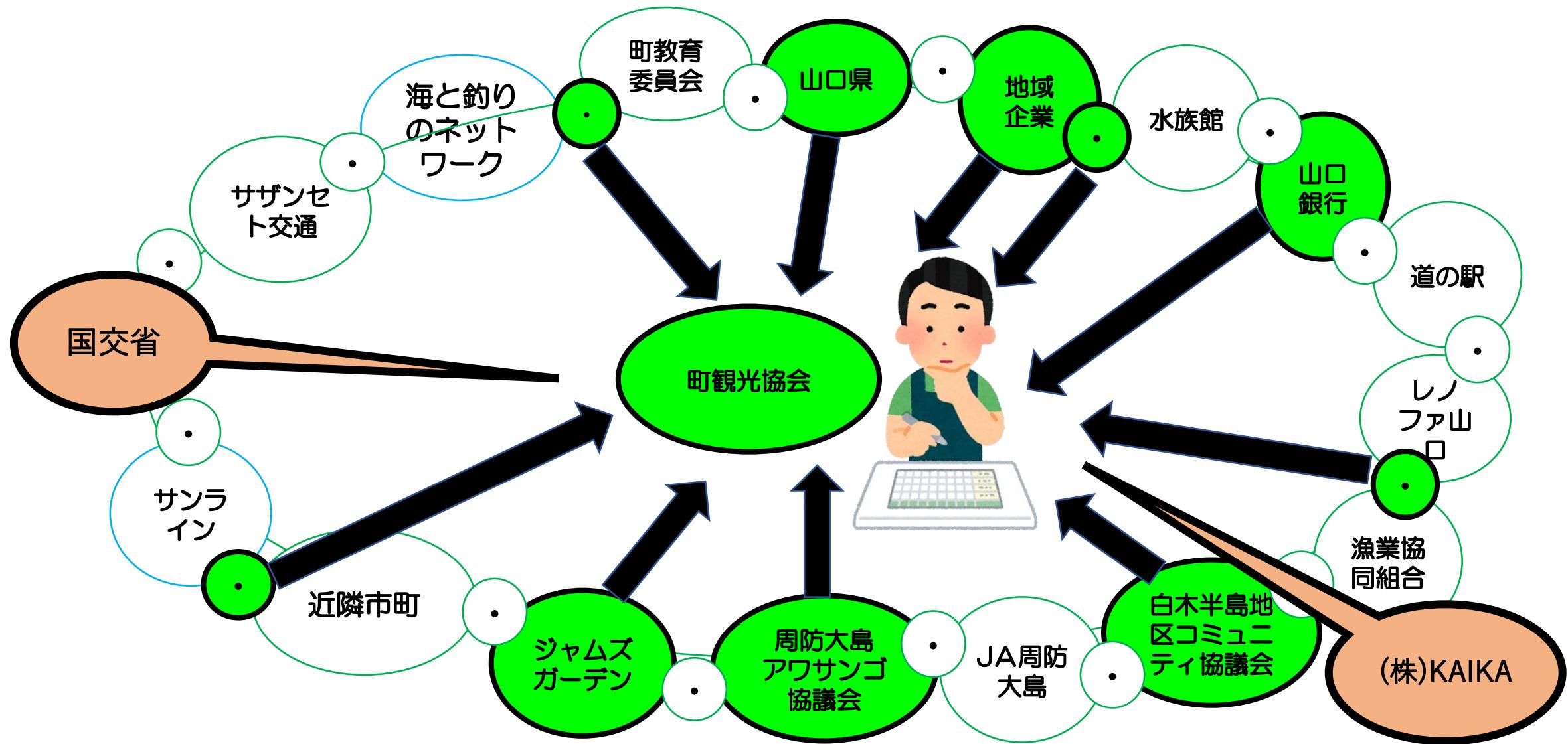
C



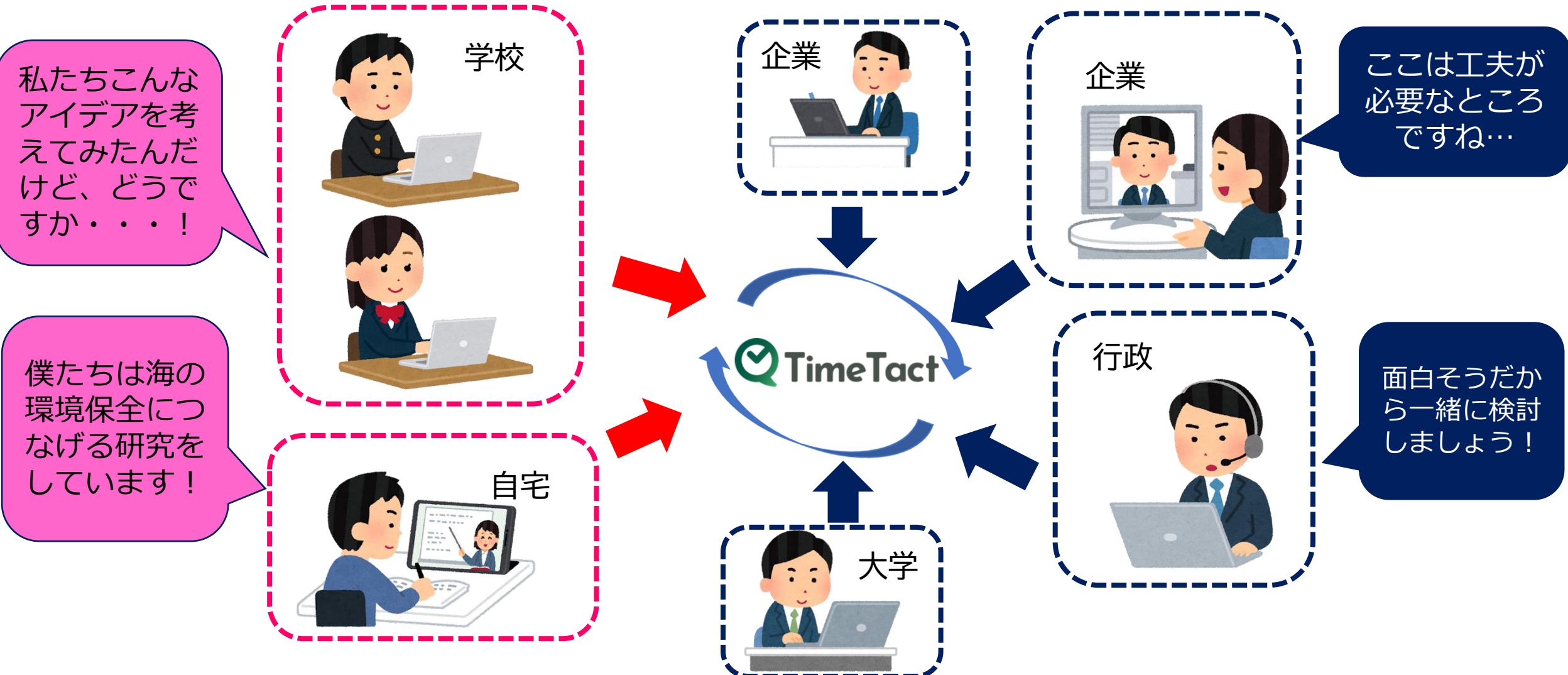
周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム事業 【将来像】



周防大島町 地域循環共生圏プラットフォーム 今後のイメージ



デジタルツールを活用したESDモデルのイメージ



生徒のアイデアに対するフィードバックを、ステークホルダーがオンライン上でタイムリーに実施できるようデジタルツール「Time Tact」を活用したESDモデルを構築することで、プラットフォームにおけるステークホルダーと周防大島高校との連携を持続可能な形にすることを目指す。



第2期ESD国内実施計画 ~SDGs達成のための教育の推進~

●オールジャパンで我が国のESDを推進するとともに世界のESDをリードしていくために、関係省庁が連携し、ESD国内実施計画を策定した。

●次期計画では、「ESD for 2030」の理念を踏まえ、ESDがSDGs達成への貢献に資するという考え方を初めて明確化。ジェンダー平等、2050年カーボンニュートラル、AI・DXの推進等を踏まえつつ持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献を実現するための取組を記載。



1. 政策の推進

- ・SDGs関連政策へのESDの反映
- ・教育政策へのESDの位置付け
- ・地球規模課題に係る施策におけるESDの実施等について記載。



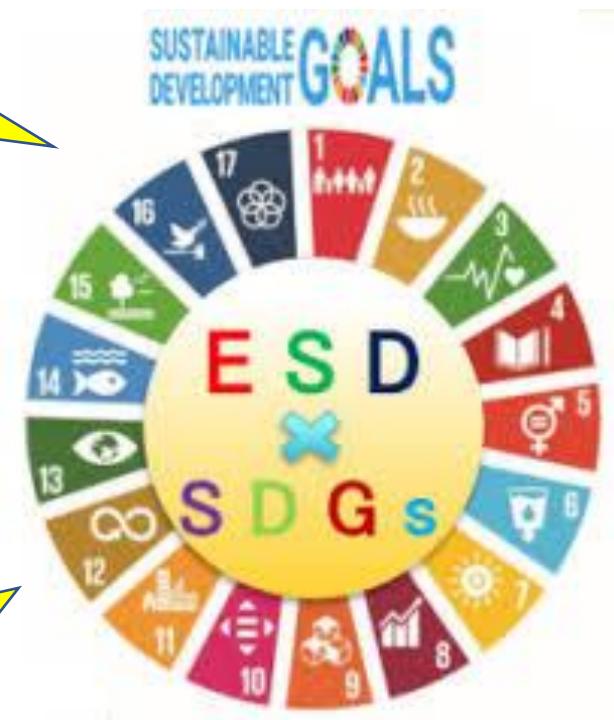
2. 学習環境の変革

- ・学習指導要領に基づくESDの実施
- ・ICT化を通じた教育環境の充実
- ・機関包括型アプローチの推進に向けたネットワークの形成・強化等について記載。



3. 教育者の能力構築

- ・教員等に対する研修等
- ・ESD推進の手引の作成・活用
- ・各機関においてESDを実践する者の育成等について記載。



●ESD実現のため多様なステークホルダーを巻き込む方策や、「ESD for 2030」に示された5つの優先分野ごとに国内の各ステークホルダーが実現する取組を記載。

1. ESDを実践するため多様なステークホルダーを巻き込む

2. ステークホルダーごとの具体的な取組を5つの優先行動分野別に記載



Youth

4. ユースのエンパワーメントと参加の奨励

- ・ユース同士のコミュニティづくり
- ・国際的な議論にユースが参加できる環境づくり
- ・青少年の交流の推進等について記載。



Community

5. 地域レベルでの活動の促進

- ・ESDによるローカルSDGsの推進
- ・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の発揮等について記載。

5



Community

5. 地域レベルでの活動の促進

- ・ESDによるローカルSDGsの推進
- ・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の発揮
- 等について記載。

● 周防大島高校生が提案した「政策アイデア」について、島内外の多様なステークホルダーがサポートし、実現化していくことで持続可能な地域活性の発展を目指す。





Learning Environment

2. 学習環境の変革

- ・学習指導要領に基づくESDの実施
 - ・ICT化を通じた教育環境の充実
 - ・機関包括型アプローチの推進に向けたネットワークの形成・強化
- 等について記載。

● デジタルツール「Time Tact」を活用して周防大島高校がステークホルダーと繋がることで、ステークホルダーの負担を軽減するとともに、アプローチの回数を増加させる。





Educators

3. 教育者の能力構築

- ・教員等に対する研修等
- ・ESD推進の手引の作成・活用
- ・各機関においてESDを実践する者の育成等について記載。

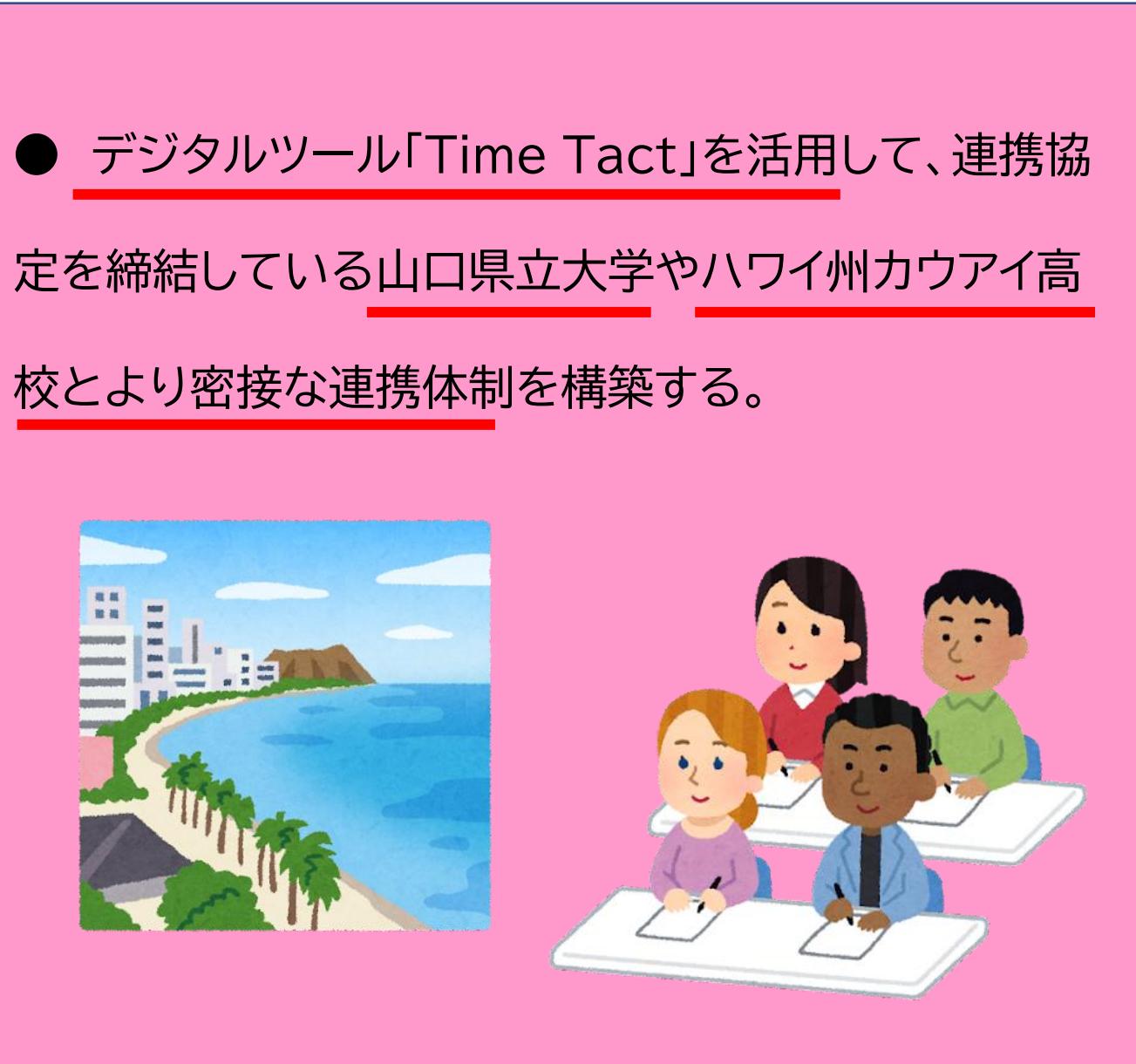
● 地域循環共生圏のステークホルダーを増加させることで、教員等の人材育成や人事異動に伴うスムーズな引継等にも対応できる仕組みをつくる。





4. ユースのエンパワーメントと 参加の奨励

- ・ユース同士のコミュニティづくり
 - ・国際的な議論にユースが参加できる環境づくり
 - ・青少年の交流の推進
- 等について記載。



● デジタルツール「Time Tact」を活用して、連携協定を締結している山口県立大学やハワイ州カウアイ高校とより密接な連携体制を構築する。



1. 政策の推進

- ・SDGs関連政策へのESDの反映
- ・教育政策へのESDの位置付け
- ・地球規模課題に係る施策における
ESDの実施
- 等について記載。

● 多様なステークホルダーに支援してもらいながら
高校生が町の課題解決に伴う政策アイデアを実現す
ることで、自治体のSDGsに係る施策へ反映させ
ことができる。



ハワイ修学旅行 R5.1.15~1.20

第1回東部グローカル人材育成事業



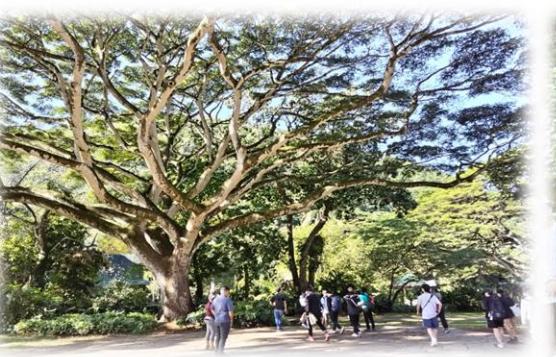
現地プログラム2日目「SDGs 体験プログラム」R5.1.16



●ハワイ州は国連が実施する持続可能な開発目標を基準として、州独自の地域主導特別SDGsプログラム「アロハプラスチャレンジ」を設定している。

●このアロハプラスチャレンジの考え方を学ぶために、ハワイの大学生をメンターとした4班に分かれて自然環境保護や地域文化保全などに関するプログラムを体験した。

天然資源の管理 (外来種除去)



ゴミの軽量化 (ビーチ・クリーン)



伝統の保護 (タロイモ畑)

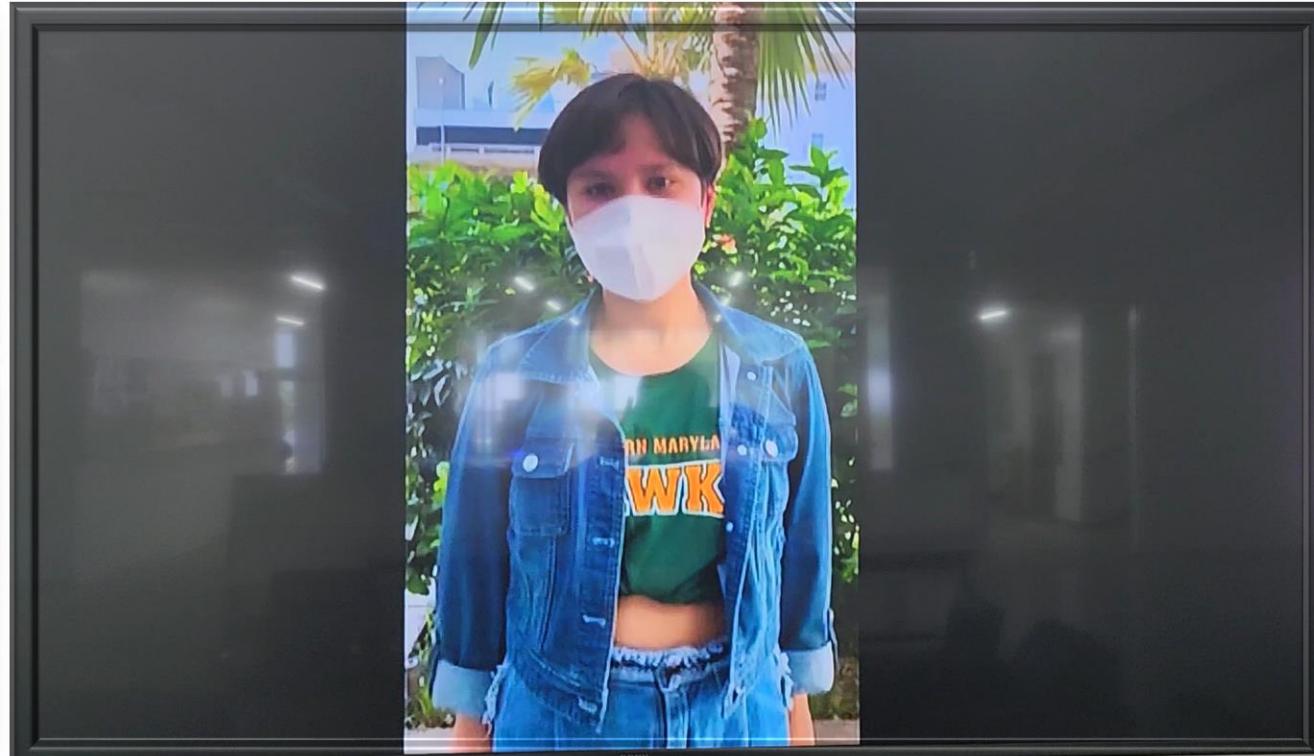


文化と歴史 (ビショップ博物館)



振り返り、映像制作

●グループごとに現地大学生メンターと英語で話し合い、自分たちの体験した振り返りを行うとともに、他のグループに説明するための映像を制作した。



■今後、この経験や学びをどのように活かしていきたいか

行動宣言：少しでも海外に触れていきたい

今まででは県と県・市と市で違いや魅力を探したり地球温暖化やSDGsなど世界全体での問題も全て日本でしか考えていませんでした。しかし、今回日本から出てハワイの問題の話を聞いたり目で見たりして日本だけではなく他の国も同じ問題を抱えているということを身に感じて親近感がしました。さらに日本よりもハワイのほうが改善しようとしていて日本もハワイを見習うようにしていけば世界全体が良くなるのだろうなとと思いました。ハワイ以外でもこのように海外では良い取り組みをしていると思うので、自分の視野を広げて色々な観点から見ていきたいと思います。

— 思い出のトピック —



周防大島高校生は、周防大島を元気にする
地域循環共生圏づくりを通してESDによる
ローカルSDGsを推進しています！



御清聴ありがとうございました。